資料2-2

# 令和４年度の審議内容について

○　本格的な人口減少、少子高齢化社会を迎える中、魅力的で持続可能な都市であり続けるために、本市では、様々な主体がそれぞれの強みを生かし、連携・協力し合いながら、「誰もが心豊かに安心して暮らし続けることができる協働のまち・仙台」の実現に向けて、各般の取り組みを進めている。

○　そのような中でも、本市の「学都」としてのポテンシャルも生かしつつ、社会人も含めた多くの若者に、まちづくりの担い手として力を発揮してもらえるよう、若者の市民活動の促進や社会参加促進などに取り組んでいくことが、本市の持続的な発展にとって重要なものと考えている。

○　このような認識のもと、これまで本市では、「若者が活躍するまちづくり事業」として、概ね 18 歳から 30 歳代の若者のまちづくりへの参加を促し、より良い地域や社会を目指して活躍する若者を増やすこと、若者と多様なまちづくり主体をつなぐこと、若者の発想や活力をまちづくりに生かすことを視点とした取り組みを進めてきた。

○　一方、コロナ禍を契機とした学校生活や働き方、ライフスタイルの変化は、若者にとって、新たなスキルの習得や趣味に挑んだり、キャリアアップにつなげる複業など、新しいことに挑戦しようとするポジティブな変化をもたらしており、この機を捉えて、令和４年度では、若者の意識や現状を把握するアンケートやワークショップを通して、若者のまちづくりへの参加等をさらに推し進めるための新たな事業展開を検討していくこととしている。

○　そして、仙台のまちが、若者が多い京都市や福岡市と比べても、まちづくりに活躍する若者の姿で賑わい、その熱気に引き寄せられるように全国の若者からも選ばれる、若者の活力に満ちたまちづくりを目指していきたいと考えている。

○　この検討に合わせて、令和４年度の委員会においては、若者のまちづくりへの参加等を促進するための効果的な手法などについて、各委員からご自身の活動状況、経験や知見に基づくご意見をいただくことで、今後の施策検討に生かしていきたい。

※　本日の委員会（第１回）では、現在の「若者が活躍するまちづくり事業」等について事務局からご説明し、これに対して、各委員からご意見をいただきたい。

※　第２回以降の委員会では、若者の意識や現状を把握するためのアンケートの実施内容や結果についてご意見をいただく予定。